

南の風

- ・巻頭言
- ・学習発表会、2学期がんばること
- ・11月の予定



子どもが大きく伸びるチャンス

校長 若狭 陽一

10月下旬には、保護者の皆様、地域の皆様のご協力を得て、「学習発表会」と「全校歩き遠足」の2つの大きな行事を成功させることができました。ありがとうございました。

学校の授業でも、行事でも大切にしなければならないことは、「心の揺れ動き」であると考えています。「大変だったけど、できた」「励ましてもらって、うれしかった」「今までにない自分を見つけた」「とにかく感動した」などなど。そして、この「心の揺れ動き」が子どもにとって、大きく伸びるチャンスとなります。

学校が用意する授業や行事の中身が大切であることは、言うまでもありません。さらに、南小学校では、めあてを立て、振り返りをすることに力を入れています。なぜならば、「心の揺れ動き」を子どもに自覚させることが大切だからです。

以下は、先日行われた学習発表会における4年生Aさんの振り返りカードの一部です。

めあて：見ている方々に分かるような発表にしたい。そのために、大きな声、ゆっくりした速さで発表する。

振り返り：本番までにセリフが変わったけれど、まちがえずに言えてよかったです。でも、目線がお母さんの方を向いていたので、これからの発表のときは、見るべきところを見たいです。6年生の合奏から、すごく練習して協力していたということが伝わってきて、すごいなと思いました。

Aさんは、「分かる発表」を達成するための「大きな声」や「ゆっくりした速さ」という行動目標をきちんと示し、具体的なめあてを立てています。振り返りからは、急なセリフの変更によるドキドキ感と、言えた時の達成感が伝わってきます。さらに、「目線」という新たな課題ももつことができました。Aさんに代表されるように、全校の教室に掲示された振り返りカードから、一人一人の子どもの「心の揺れ動き」が感じられるとともに、今後大きく伸びる一人一人を期待せずにはおられません。以下、子どもの振り返りの一部を示します。

<学習発表会>

2年生：わたしは、すごくきんちょうしました。でもすごくたのしかったし、えんそうもれんしゅうよりもじょうずにできてうれしかったです。みんなと心をついでできてよかったです。

3年生：きんちょうしすぎて、ふるえちゃいました。でも、みんなにとどくような声が出ました。おうちの人も「ちゃんと聞こえたよ」と言っていました。

5年生：聴いていた方から「泣いている方もいた」と聞きました。感動していただいですごくうれしかったです。他の学年の発表からも学ぶことがたくさんありました。

<全校歩き遠足>

1年生：えんそくで、4年生と5年生がにもつをもって来て、やさしいなと思いました。

6年生：最初は班のみんなと仲良くなかったけれど、みんなと歩いたり遊んだりして仲がすごく深まりました。みんなは、「班長」とよんでくれたので、リーダーなのだという自信ができました。(遠足が終わって別れるのは) 悲しいけれど、今度は、(同じ班で行う) そうじをみんなで楽しみたいです。